

8月10日(木)発行



ほぼ

日刊サマ-ミュ-ザ



Hobo Nikkan Summer Muza



“炎のコバケン”の「幻想」 フィナーレまで 駆け抜けた!

8月9日(水) 日本フィルハーモニー交響楽団 ©青柳聡

台風一過で、この夏の最高気温を更新した関東地方の8月9日、ミュ-ザ川崎にはフランス音楽の華が咲いた。

桂冠名誉指揮者の小林研一郎に率いられて登場したのは日本フィルハーモニー交響楽団。オープニングは、20代前半のドビュッシーが作曲した愛らしい「小組曲」の管弦楽版(ビュッセル編曲)。猛暑の中から来場した聴衆もほっと一息。フルートはじめ木管楽器が優美に大活躍した。

この日のソリストは神奈川県育ちの小林美樹。日本の女

流ばなれたスケールの大きいヴァイオリンを聴かせる注目の若手だ。サン=サーンスの「序奏とロンド・カプリチオーソ」はメリハリを効かせて名技を披露。タイス「瞑想曲」は端正な楷書風。「前の人は気づいたと思うんですけど、演奏中に腕にハエがとまりました」と聴衆を笑わせて、アンコールにクライスラーの無伴奏曲スケルツォを鮮やかに弾いた。

さて後半は期待の“炎のコバケン”のベルリオーズ「幻想交響曲」。特に後半、「断頭台への行進」以降の燃え上が

りっぷりが凄かった。「魔女の夜宴の夢」で、本当に鐘楼から降ろしてきたのかと見紛うばかりの巨大な2個の鐘が木のハンマーで強烈に打ち鳴らされてからは、めくるめくようにフィナーレまで駆け抜けた。

止まぬ拍手の中、マイクを持った小林が「長崎のために祈りましょう」と演奏したマスカーニの「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲が、熱くなった聴衆をクールダウンしてくれた。

原口啓太
(音楽ジャーナリスト)



終演後の記念撮影より

小林研一郎(指揮)&小林美樹(ヴァイオリン)

8/9

日本フィルハーモニー交響楽団

お客様の声から♪

「暑さは熱さを以って制すべし」。今年一番の猛暑日に、炎のコバケンと日本フィルが十八番の「幻想交響曲」を熱き思いで熱演。「幻想」で泣いたのは久しぶりです。最高!前半の小林美樹さんのヴァイオリンも美しく鮮やかで感動しました。(64歳・幻想愛好家)「長崎の日」を忘れていないコバケンと日フィルはさすがです。両者に感謝!世界が平和でありますように。(Peter Pan)/ミュ-ザとの出会いが、この組合せのサマ-ミュ-ザでした。何年前?おかえり!コバケン&日フィル!!また来て下さいね!!会社を休んで来て、正解!(びよ) /指揮者の顔が見える後ろの席で初めて聴いたのですが、感情移入しやすく指揮者の方の意図していることもわかってとても良かったです。小林美樹さんのロンカブとタイスはどちらも演奏したことがあるのですが、一音一音丁寧に表現されていること、深いビブラート、低音の出し方など、本当に勉強になりました。また、コンクールのことなど色々思い出して泣きそうでした。自分もあのようなステキな演奏ができるようになりたいです。(16歳・Massenet)

▶▶NEXT!! フェスタサマ-ミュ-ザ

東京交響楽団
フィナーレコンサート
《ドラマティック・ラフマニノフ》

完売御礼!

*当日券なし

8/11(祝金) 15:00 開演 (11:00 開場)
ミュ-ザ川崎シンフォニーホール

指揮/秋山和慶
ピアノ/反田恭平

《オール・ラフマニノフ・プログラム》
ピアノ協奏曲第3番
交響曲第2番

リハ 11:30~最長13:30
公開リハーサル (自由席)



150円 (10粒入り)
ミュ-ザ川崎シンフォニーホール
1F ショップにて販売

あ
り
ま
す
。
限
定
ラ
ム
ネ

いつも心に
ほほえみを。
秋山和慶キーホルダー
【ミュ-ザ限定】

500円
ミュ-ザ川崎シンフォニーホール
1F ショップにて販売

若い熱演にリピーター続出！ Collage of Music Orchestra Festival 2017

音楽大学オーケストラ・フェスティバル

東京藝術大学
桐朋学園大学
武蔵野音楽大学
東京音楽大学
上野学園大学
昭和音楽大学
東邦音楽大学
国立音楽大学
洗足学園音楽大学

首都圏にある9音楽大学の演奏を一挙に楽しめる毎年人気のこの企画が、今年もやってきます。

今年のラインナップは王道のシンフォニーからバレエ音楽、指揮者も若手からベテランまで幅広く揃いました。特にミュージザでの2公演では、両日でマーラー：交響曲第1番「巨人」が楽しめます。昭和音大×海老原光のコンビは昨年のサマ-ミュージザでも大好評を博しており、期待が高まります。洗足学園×秋山和慶の定番コンビは、安心感のある堂々とした演奏を繰り広げてくれるでしょう。人気の高い

「巨人」を聴き比べてみるのも面白いかもしれません。

このコンサートでは、各大学の演奏前に共演校によるエールを込めたファンファーレ演奏があるのも特徴です。なかなかお聴きいただける機会がない作曲家のタマゴ達の力作を披露できる貴重な場でもあります。ファンファーレにもどうぞ注目ください。

この秋は、ミュージザ・東京芸術劇場の4公演をお得に聴くことが出来る“通し券”を購入して、心揺さぶられる熱い演奏を聴き倒しませんか？

(事業課・わ)

第8回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル 2017
ミュージカシンフォニーホール (2公演)

11/25(土) 15:00開演



【出演】
上野学園大学(指揮:清水颯輝)
昭和音楽大学(指揮:海老原光)

ビゼー:「アルルの女」
第1・2組曲より抜粋
コダーイ:管弦楽のための協奏曲
……………〔上野〕
マーラー:交響曲第1番「巨人」
(花の章つき) ……〔昭和〕

全席指定・各1回券 1,000円 / 通し券(東京芸術劇場2公演★+ミュージカ2公演) 3,000円

★東京芸術劇場公演: 11/18(土)東京芸術大学・桐朋学園大学、11/19(日)武蔵野音楽大学・東京音楽大学

11/2(土) 15:00開演



【出演】
東邦音楽大学(指揮:梅田俊明)
国立音楽大学(指揮:尾高忠明)
洗足学園音楽大学(指揮:秋山和慶)

ドヴォルザーク:交響曲第8番…〔東邦〕
ブラームス:交響曲第2番…〔国立〕
マーラー:交響曲第1番「巨人」
……………〔洗足〕

QUIZ! なるほど ミュージカ

#16

ミュージカが舞台の、あのドラマ



*イメージ画像

【問題】

毎日さまざまなコンサートやイベントが開催されているミュージカですが、テレビドラマの舞台になったこともあります。指揮者役の俳優をはじめ、オーケストラ、そしてたくさんの観客エキストラが集結し撮影が行われたのですが、では問題：その作品のタイトルは？ぜひなんでしょう？ヒントは、一世を風靡したあの大人気クラシック音楽マンガといえど……

→こたえは、この紙面の下(枠外)へ！

パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

ラーメン
麺屋 菜々兵衛

ラゾーナ川崎プラザ1階
パートナーショップリストP.16

サマ-ミュージカ特典 チケット提示で
煮たまご1個サービス

※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

開演前にサクッとご飯を済ませたいときに便利な、ラゾーナ川崎のフードコート。たくさんのお店があり、目移りしてしまいます。今回、私が訪れたのは「麺屋 菜々兵衛」さん。北海道で大人気のラーメン屋さん、関東初出店。名古屋コーチンを使用したスープの「名古屋コーチン塩」が有名ですが、今回は「秘伝の中華そば」を頂きました。一見シンプルですが、クセになるお味!細く少し固めな麺で、チャーシューは薄切り

でさっぱりしています。サービスの煮卵もつけて、大変満足な一杯でした。
(事業課のじやい)



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマ-ミュージカ期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマ-ミュージカオリジナルチケットホルダー】または【ミュージカオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージカ友の会

- ・年会費3,000円
- ・チケット割引・優先予約などお得な6つの特典

詳しくは友の会入会窓口(ホール・歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方にプレゼント!

サマ-ミュージカ公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージカラベル】1本をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください。



当日の感動をすぐお届け!!



バックナンバーはミュージカHPでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

発行はファイナルの次の日までです。熱狂の最終日の様子をお届けするところまで、あともう少し頑張ります!

さて、次号のほぼ日はいよいよファイナルですが、実は新聞の発行はファイナルの次の日までです。熱狂の最終日の様子をお届けするところまで、あともう少し頑張ります!

お祭り期間のおおしごと、このほぼ日刊サマ-ミュージカ編集・発行も、残すところあと2日。第1号から順に眺めるとなかなか感慨深いものです。ここまで発行してこられたのは、ひとえに、聴いた次の日はもう原稿をあげて下さるレディブローヤカメラマンの皆様や、みなさまのお手元に届くようプログラムへ挟み込む作業をしてくれるアルバイトさんたちの力があってのこと。そうした様々な方々のお手につけて下さるお客様のお姿を見るにつけ、やっぱり新聞は読んで下さる方がいて初めて成り立つものなんだなあとしみじみ実感が深まります。

さて、次号のほぼ日はいよいよファイナルですが、実は新聞の発行はファイナルの次の日までです。熱狂の最終日の様子をお届けするところまで、あともう少し頑張ります!

広報・営業担当です。昨年末には経理をしておりましたので、部署によってこれほど日々のスビード感が違うものなのかと驚きながら、ご来場いただきたくお客様や、ご支援下さるスポンサーの皆様に感謝しつつ日々の業務にあたりたいです。

お祭り期間のおおしごと、このほぼ日刊サマ-ミュージカ編集・発行も、残すところあと2日。第1号から順に眺めるとなかなか感慨深いものです。ここまで発行してこられたのは、ひとえに、聴いた次の日はもう原稿をあげて下さるレディブローヤカメラマンの皆様や、みなさまのお手元に届くようプログラムへ挟み込む作業をしてくれるアルバイトさんたちの力があってのこと。そうした様々な方々のお手につけて下さるお客様のお姿を見るにつけ、やっぱり新聞は読んで下さる方がいて初めて成り立つものなんだなあとしみじみ実感が深まります。